

絆

学校便り3月号

きずな

日置市立生橋中

令和4年3月23日



よく学びよく考える

校長 井之上 良一

縁あって、立派な伝統を有し、明媚な自然に囲まれた土橋中学校で1年生、2年生、3年生とそれぞれの年数の分だけ一緒に過ごすことができました。思えば、この三年間、日々の授業や学校行事、部活動等を通して成長する生徒たちの姿に接し、私自身、これから目指すべき教育の方向性について考えることができました。また、教えることは学ぶこと、すなわち「教学一如」とであると改めて胸に刻み込むことができました。今、生徒たちをはじめ多くの皆様方との有り難い出会いに心から感謝しているところです。

さて、お別れに際して、これから自分の進路を切り拓いていく生徒たちに平凡ではありますが、「よく学びよく考える」という言葉を贈りたいと思います。実は、これからの社会の変化が大きく、不断に知識や技術を習得していく必要があるという理由だけで、学ぶことが大切だと言っているのではありません。私の言う「学び」には、もっと能動的な意味合いが含まれています。結論を先に言えば、それは「問題解決としての学び」が大切になってくるということです。

近年、企業で求められる力として「地頭力（じあたまりょく）」というものが話題にされることがあります。「地頭力」とは、一般に自分で情報を収集し、その情報に基づいて、自分なりの考え方で創造的に問題を解決する力のことです。簡単に言えば、問題にぶつかった時に学びつつ自分なりに考える力のことです。

学生時代は勉強がよくできても、あるいは高い学歴を有していても、いざ社会に出ると通用しない人も決して少なくありません。このような場合、もしかしたら「地頭力」が十分に備わっていなかったこともその一因かもしれません。一方、学歴に左右されず問題解決能力をいかに発揮して、社会で大いに活躍している人も数多くいます。社会に出て、職業人として力を発揮していくためには、実践的な力としての「地頭力」を携えていたり、磨いたりしていくことが必要になる所以です。



地頭力をテーマにした図書

また、現代社会においては情報化やグローバル化が急速に進展しています。現代社会を生き抜いていくためには情報に振り回されず、自ら主体的に考え、問題の解決に取り組む力や創造的に考える力がますます重要になってきています。

さらに、よくよく考えてみれば、人が生きるということ自体、問題との出会いの連続です。人は生きている限り、個人的な問題や職業上の問題、社会的な問題、あるいは地域の問題や国内の問題、国際的な問題など、さまざまな問題と出会うようになっていきます。そうした問題をよりよく解決していくためには、問題に正面から向き合い、学びつつ創造力を発揮していくほかありません。このような意味からも、「よく学びよく考える」という姿勢や態度を身に付けていくことはとても大切なことに思えるのです。

これからの人生は、おそらく楽しいことばかりではなく、辛いことや苦しいことも待っていることでしょう。そういう時には、自分の心身に深刻な影響を及ぼさない状況であれば、「石の上にも三年」という気持ちでひとまず取り組んでいることを継続してほしいと思います。併せて、折に触れて、今、生きて在ることへの感謝を忘れないようにしてほしいと思います。

ある雑誌の巻末に次のような文章が書かれていました。

人間には、どれほど厳しい試練でも、それを乗り越え、未来を切りひらいていく力がある。・・・(中略)・・・生きていることがいかに貴く、幸運かを改めて心に刻み、自分にできることに精一杯、取り組んでいきたい。そうすれば、くじけず頑張ってきてよかったと心から思える日が、きっと来るはずである。

本当にそのとおりです。苦しくても自分の運命を一生懸命生きる。このことを肝に銘じておきたいものです。生徒の皆さんの前途に幸多からんことを、そして一人一人の今後ますますの健康と活躍を切に願っています。

最後になりましたが、この三年間、拙い実践を支えていただきました保護者や地域の皆様方の御厚情に對しまして深く感謝申し上げます。



令和3年度卒業式記念写真

土橋中学校の1年間（令和3年度を振り返って） 同学（学び合い）

確かな学力の定着

授業で「発表・表現の場」を設定し、「発表話型」や「話の聞き方3つのポイント」を活用した話し合い活動の充実を努めました。また、個別の家庭学習課題を付与し、自宅学習の更なる質の向上をめざしました。

キャリア教育の充実

職場体験や職場見学を実施し、働くことについての学習が充実できました。高校訪問では、今後の進路について考えさせることができました。

郷土教育の充実

ウメ収穫や地域ふれあい活動などの地域貢献活動を推進するとともに、「ひおき学」では外部講師を招聘してフィールドワークの充実を図りました。

職員研修の充実

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、外部講師を招聘して研究授業を実施し、教職員の授業力の更なる向上を目指しました。



生徒集会での発表



職場体験学習



ひおき学フィールドワーク



社会科研究授業

共働（共に働く）

心の教育・人権教育の充実

「考え議論する道徳」をめざした授業改善に努めました。また、全校道徳を実施し、人権意識の高揚を図りました。

生徒指導の充実

スクラップブックトークや生徒会活動、全校朝会や生徒集会での活動を通して、生徒が主体的に活動する場を設定しました。

緑化活動・食育の充実

花を種から育て、学級園に定植する活動や「弁当の日」の活動を通して、協働する力や最後まで粘り強く取り組む力などを育てました。



全校道徳の授業



スクラップブックトーク



緑化活動(花壇への定植)

保護者・地域との連携

P T A 活動の活性化

「学校と家庭の共通実践事項」を配布し、「生活の記録」を介して3つの時刻の定着を図るようにしました。また、子育てに関する講話を実施することができました。



子育て講座

体力向上

朝のランニングをはじめ、目標を持って体力づくりに取り組めるよう環境を整えました。持久走大会での記録更新など顕著な成果が出ました。

健康教育の充実

生活点検表で1週間の家庭生活を振り返らせ、規則正しい生活を送れるよう促しました。また、保健タイム等で健康的な生活について考えさせました。

安全指導の充実

消防署と連携した火災時における消火訓練や災害時における引き渡し訓練など、実際的な訓練となるように努めました。



校内持久走大会



SOSの出し方教室



消火訓練

地域との連携

自治公民館や地区公民館と連携し、紫陽花の植樹や花いっぱい活動ができました。また、地域ふれあい活動等でも連携・協力することができました。



地域ふれあい活動

ありがとうございます

今年も茨城県在住の卒業生の方から、英検等の奨励金に役立ててほしいという趣旨で本校に御寄付をいただきました。

おめでとうございます

県PTA広報紙コンクールで「つちはしの風」が優秀賞を受賞しました。ここ数年の紙面の工夫や記事の内容が充実した成果だと思えます。

第72回卒業式 3/15

第72回卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、生徒と卒業生の保護者、職員、教育委員会、市長部局の方のみで実施しました。

生徒たちは、所作や歌など、普段から鍛えられ、色々なことに主体的に取り組んでいる成果を発揮し、厳かな中にもあたたかな雰囲気のある卒業式にしてくれました。7名の卒業生は、第1希望の高等学校への進学も決定しました。本校での思い出を糧に、これからも活躍してくれるものと期待しています。



一年間の御支援、御協力
有り難うございました。
令和4年度もよろしく
お願い致します。

